

仕事の中身
と
「なれるまで」

高校生の 人気職種インタビュー

世の中にあるたくさんの仕事、どんな仕事にもある程度の困難とそれを超えるやりがいがあるものです。

将来に向けて歩みだしたお子さんのよい話し相手、応援者となるよう、
今、最前線で活躍する先輩職業人11人の体験談からたくさんのヒントを得てください。

取材・文／山下久猛 撮影／守谷美峰、杉能信介

毎日緊急を要する患者さんの治療をするのが仕事なので、**人の命を助けているという特別な意識はありません。**ただ、処置した患者さんが無事に退院するときは**助かってよかったね**と思います。

救急医 01

埼玉医科大学総合医療センター 救急科 外来医長
高本勝博さん(42歳)

④ 出動要請は日によって違います。多い時で1日4回ヘリに乗って出動することもあります。一刻を争う現場なので、患者の緊急度、重症度に応じた適切な救命処置を瞬時に判断することが最も重要です

⑤ ヘリの中で治療が必要と判断したら迅速に救急治療に当たり、そのまま病院に搬送すること



こんな人が向いている!!

1. さまざまな人とかわるのでコミュニケーション能力に長けている
2. 精神的にタフである
3. 気持ちの切り替えが上手
4. ハードな仕事なので体力は必要

急患の命を救うため
ヘリに乗って現場へ急行

普段は救急科の医師として患者さんの治療に当たっています。しかし、救急車で病院に搬送しては間に合わない重症患者の場合、消防からの要請を受けてドクターヘリに乗って現場へ急行することもあります。ヘリには各種医療資機材が搭載されており、ドクターヘリ導入以降、より多くの人命を救うことができるようになりました。ヘリによる患者の素早い搬送ばかりが目されがちですが、実は医師が出向くことにより、現場を小さな病院にできる点が最大の利点なのです。

ドクターヘリに乗って現場に駆けつける医師を通称フライトドクターと呼びますが、専任の医師は存在しません。

なるまでヒストリー

▽ 中学時代

剣道と遊びに夢中でほとんど勉強しなかった。将来なりたい職業もまったく考えなかった。

▽ 高校時代

長崎県立長崎東高校に剣道推薦で入学したがラグビー部に加入。ラグビー色の学生生活。生物が好きで理系を選択。将来なりたい職業もなかった。先生に勧められるまま九州大学農学部を受験合格。そのとき初めて農学部を出てみたい職業について考えたが何もイメージできなかった。

進路選択のポイント

「手に職をつけたい」「人助けがしたい」という基準で改めて職業を考えた結果、合格した九州大学農学部には入学せず、医師を目指してやり直そうと決意。母が看護師で医療関係者とかかわりがあったことや、野口英世などの伝記を読んだことにも影響を受けた。

親からの忘れられないひとこと

母子家庭で、母は基本的に細かいことは言わない放任主義だった。医師を目指したいと相談すると、せっかく受かったんだから九州大学に進学しなさいとは言わず、医師になれるよう「所懸命頑張らなさい。私も頑張って学費を稼ぐから応援してくれ。」

▽ 浪人時代

浪人。本格的に勉強開始。私立大学の医学部に合格したが、寄付金のあまりの高さに断念。二浪決定。

▽ 大学時代

産業医科大学に入学。入学式で母は泣いて喜んで。学費は大学から奨学金を受けられた。ラグビー部で活躍。6年間医学を学ぶ。卒業試験、医師国家試験ともに合格。

▽ 産業医科大学病院時代

卒業後そのまま産業医科大学病院に就職。人命救助の最前線で働ける救急科に魅力を感じたが病院内になかった。そこで救急医療に欠けない、全身の管理を行う麻酔科に加入。その後病院の人事で山口県の病院や北海道の病院など関連病院で計11年間麻酔科医として働く。

▽ なって初めて

当時の産業医科大学は卒業後指定された病院で11年間勤務すると学費が免除される制度があった。11年間勤務した後、埼玉医科大学総合医療センターの救急科に転職。ドクターヘリに乗りたいたまはまったく思っていなかった。大学卒業以来の夢だった救急医療に携われて、多忙だが充実した毎日を送っている。今後は地域に根付いた救急医療の構築のために尽力したい。

普通ではなかなか入れない場所に入れて、なかなか会えない人に会えることが一番の魅力です。私の作った番組を観た家族や友人が感動して泣いてくれたりするとやった！と思います。彼らは一番身近な一般視聴者ですから。



02

テレビ番組ディレクター

株式会社テレビマンユニオン
岡 瑠里子さん (29歳)



⑤取材中に感極まって泣いてしまうことも多々あるほどの波乱万丈な仕事です。これまで旅番組やドキュメンタリー番組を手がけてきましたが、最近は料理番組が多いです。やらなきゃいけないことが多いので、毎日が締め切りのある文化祭という感じです(笑)

⑥旅番組を担当すると海外ロケにもよく行きます(「世界ウルルン滞在記」の取材でイギリスにて)

こんな人が向いている!!

1. 好奇心旺盛
2. 調べることが苦にならない
3. 自分のおもしろいと思ったことを他人に伝えたいという気持ちが強い
4. 体力に自信がある

視聴者の心に響くテレビ番組制作を指揮

ディレクターの仕事はどんな番組にするかを決めて、制作の指揮を執ることです。まずはどんな内容の番組を作りたいかを考えます。企画が通ると取材するための場所や人を調べたり、関係各所に電話をかけて取材のお願いをします。そしていよいよ取材、いわゆるロケです。最も楽しい仕事で、カメラマン、音声、照明、アシスタントディレクターなどでチームを組んでロケ先に出かけて取材します。それが終わると取材先で得た映像を規定の時間枠内に収めるための編集作業へ。どのシーンを何分流すかの配分や、映像を流す順番などを決め、パソコンを使って自分で編集します。

なるまでヒストリー

▽高校時代
広島大学附属福山高校に通っていた。莫然と映画監督や冒険家にあこがれを抱く。勉強は得意なほうだった。

▽進路選択のポイント
大学受験の時期になっても将来なりた職業は決まらなかったが、東京に出たかったこと、どうせ行くなら日本トップの大学へと、東京大学を目指す。

意志の芽生え

▽大学時代
現役で東京大学に入学。何となく興味をもつてマスコミ関係者が講師を務めるマスコミ研究会のようなセミナーへ入る。その影響で人間や社会に興味をわき、3年生からは文学部行動文化学科社会学へ。でもマスコミ業界に進みたいと思っていたわけではない。

職種の発見

▽就職活動
3年生になっても就職についてあまり深く考えておらず、やりたい仕事も明確に決まらなかった。いろいろな会社の説明会に参加。その過程でだんだんおもしろいことを世の中に伝える仕事がいっぱいあるな、マスコミ業界にエントリ。2社の出版社から内定を獲得したが、より人を感動させるのは映像だと思ったこと、映像制作は未経験だったので挑戦するのなら今しかないというテレビ局やテレビ番組制作会社に就活し直し。

▽アシスタントディレクター(AD)時代
テレビマンユニオンに入社。まずはアシスタントディレクターとして働き始める。徹夜の連続で体力的にきつく、プライベートな時間はなかった。しかし、いろいろな場所へ行ったり、おもしろい人に出会ったりと刺激的な毎日だった。で、苦にはならなかった。

▽なつてみて今
3年半のAD時代を経てディレクターに。相変わらず夜も昼もない生活だが、自分の思い通りに番組が作れるのもとても楽しい。仕事で感動して泣くような仕事は他にあまりないと思う。できる限りこの仕事を続けていきたい。

▽親からの忘れられないひとこと
これまで進学、就職に関してまったく相談しなかった。父は自営業で趣味人だったので、基本的に自分の人生は自分で決めたいというスタンスだった。「お父さんも好きなきょうをやるんだからおまえも好きにすればいいよ」という言葉が印象に残っている。幼いころからあまり干渉されなかったおかげで自分で考えて自分で行動する力が養われたと思う。ただ放任というわけではなく、必要所所で助言や厳しい言葉をくれたのがありがたかった。

リクルートの使えるサービス

進学ネット

なりたのもの、行きたい学校がみつかる

学問や仕事の研究、学校探し、入試情報の収集ができる進学情報サイト。474職種、1500人以上の職業人が仕事のやりがいや、どんな学生時代を過ごしたのかを語る「先輩の仕事」、職業に就くための「なるにはチャート」、493の資格解説など、将来を考えるための情報を満載。進学に向けては詳細な学校情報に加え、学問分野の解説やオープンキャンパス、入試情報まできめ細やかに高校3年間のサポートします。

3つの活用POINT

- 1 将来を考えるきっかけになる職業人インタビューを多数掲載
- 2 なりたいものや学べることから学校を調べることができる
- 3 会員登録で適学・適職診断、キャリアカウンセラーへの相談も可能



進学ネット

検索

<http://shingakunet.com/net/>



一番楽しいのはデザインでゲームの世界観を表現すること。私が携ったゲームが多くの人たちに楽しんでもらえていることが大きなやりがいです。

03 ゲームクリエイター

グリー株式会社 クリエイティブセンター
絹村友佳子さん (28歳)

使う人のことを考えて
ゲーム画面をデザイン

Webや携帯電話、スマートフォンなどのゲーム画面のデザインをしています。最近では釣りゲームやペットのゲーム、アイテムを集めて楽しむゲームなどを手がけました。ユーザーがゲームを楽しむときによりわかりやすく、使いやすいようにメニューやアイコンを作った配置します。その際、まず大事なのがゲームの世界観にふさわしいデザインにすること。アイコンやボタン、文字なども世界観に合わせて色や形を決めます。そして作業の過程で実際に自



④ひとつのゲームをさまざまな役割の人たちが力を合わせて作ります。グリーにはプロ意識が高く、熱い人が多く、皆楽しみながら仕事をしています。キャラクターをぬいぐるみにするときのデザインも作っています

⑤常に使う人のことを意識しながらゲーム画面をデザインしています。そのほかに印刷物やノベルティグッズのデザインなど仕事は多岐にわたります

こんな人が向いている!!

1. 何事も最後までやりきる
2. 環境の変化に適応できる
3. いろいろな人と協力することが好き
4. アンテナが高く新しい物が好き
5. ゲームが好き

分です。使ってみて、不具合があるとその都度修正します。また、自分でデザインしたゲームをより多くの人に知ってもらうためのWebページを作ることもあります。

なるまでヒストリー

▼小学校時代
洋服や雑貨が大好きで集めていた。ファッションデザイナーになれたらいい。

▼中学時代
クラシックバレエやバイオリン、ピアノなどの習いに打ち込んでいた。

▼高校時代
浜松海の星高校入学。ダンス部に入り、ダンスの振り付け、音楽、衣装のデザインなどを手がける。また自分が作ったものを広めたいという思いから、マスコミ、特に広告の仕事に興味をもつ。

進路選択のポイント

大学は単に行くことが目的ではなく、やりたい職業に就くための近道としてとらえた。マスコミに強い大学に絞って受験。

親の接し方
やりたいことがあるならどんなやり方でも応援してくれた。役に立つ情報を集めて渡してくれるなど、さりげないサポート。応援がうれしかった。

職種発見

▼大学時代

大妻女子大学社会情報学部社会生活情報学科に入学。第1志望には落ちたため、しばらくは落ち込んだ気分の中で学生生活を送っていたが、広告業界の夢はあきらめず前向きにメディア系の授業を選択。広告、マーケティングについて学んだ。しかし座学だけでは何も身につかないのではという不安から、実際に広告物を作る外部のセミナーに申し込む。ポスターやパンフレットの制作を経験することによって広告制作の仕事がしたいという意思が固まった。職業としてはアートディレクターを志望。

▼就職活動

広告業界に絞って応募。広告制作会社に入社。

▼制作会社時代

当初は企画営業職での採用だったが、入社時に人事にどうしても制作をやりたいと直談判し、制作部に配属。グラフィックデザイナーとして商品のポスターやパンフレットなどの印刷物をデザインする。仕事は楽しくやりがいも感じていたが、企画やプロモーションまで自分でやりたいと思いついて退職。自社で広告媒体を持ち、制作もできるグリーの中途採用に応募。

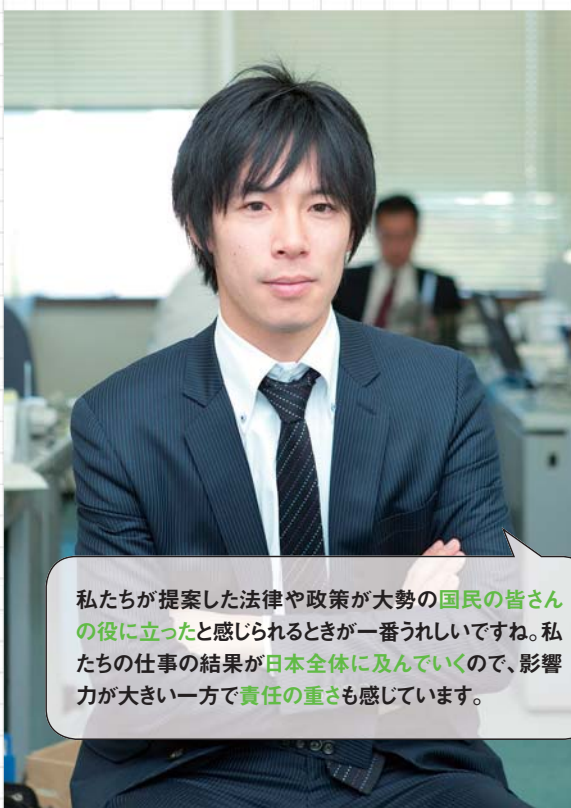
▼なってみて今

携帯スマートフォン、Web、ゲームに加え、印刷物やノベルティのデザインなど、仕事の幅が広がったのでグリーに入社してよかった。今後はゲームを作った後の世間への広め方プロモーションの仕方までトータルにかかわっていきたい。

日本をよりよくする
仕掛けを作る

05 国家公務員

国土交通省 航空局 空港経営改革推進室
企画調整官
福嶋教郷さん (29歳)



私たちが提案した法律や政策が大勢の国民の皆さんの役に立ったと感じられるときが一番うれしいですね。私たちの仕事の結果が日本全体に及んでいくので、影響力が大きい一方で責任の重さも感じています。

今の日本は経済成長の低迷などさまざまな問題を抱えており、それらを解決して新しい日本の将来像を提案・実現することが国家公務員の使命

です。その中で私は国土交通省の航空行政を担当する部署で働いています。主な役割は空港経営改革。実は現在、同じ空港でも国と民間企業がそれぞれ別々の区域を管理運営しているんです。これだと地域の人々が空港を観光や産業を盛り上げるために活用したいと思っても、空港運営側に積極的に応じられる者がいない。そこで空港経営を民間企業に一本化し、彼らならではの経営手法で活性化してもらうためのしなやかを作っています。そのために法律を作る作業をチームで担当。緻密な作業ですがとても重要な業務です。

なるまでヒストリー

▼小学校〜中学校時代
父親の仕事の関係で幼稚園から中学にかけて約2年間スペインで暮らす。そのときあまりにも

04 途上国支援ビジネス

株式会社マザーハウス 本店店長
山田真生さん(24歳)



ビジネスとして成り立つ国際貢献ができて
いることに誇りを感じます。お客様から「マ
ザーハウスのバッグを持っていると元気にな
る」と言われたときが最高にうれしいです。

途上国支援目的の ビジネスに挑戦

マザーハウスはバングラデシ
ユなどの途上国でバッグや雑
貨を企画・生産し、主に日本
で販売している会社です。途
上国の雇用促進や技術指導、
貧しい子どもの自立支援を、
ボランティアではなく、ファッ
ションビジネスで実現しているの
が特徴です。私が現在担当し
ている本店店長は、マザーハウ
スの本店として、会社の「原
点」と「今」とをお客様の記憶
に残すという重要な役割を担
っています。そしてお客様に私
たちの事業や商品の背景など



④業務内容は、店内の商品の配置、接客、売り上げや経費などのお金の管理、2名の販売スタッフのシフト管理や教育など。また販売戦略の考案では、生産を行う途上国のスタッフと日本のお客様をいかに効果的に結ぶかという点を徹底的に考え実行します

⑤店内のディスプレイも店長の重要な仕事のひとつ。お店の棚やテーブル、床や壁などもスタッフみんなの手作り

こんな人が向いている!!

1. ファッションが好き
2. 人の喜びを自分の喜びのように感じる
3. 国際問題に関心がある
4. 社会貢献とビジネスのバランス感覚
5. 自分の意見をはっきり言える

をお話しし、共感してもらっ
ただけでなく、商品そのものの
良さをできるだけ多くのお客
様に伝えていき、少しでも世
界の貧困問題の解決につなげ
ていきたいと思っています。

職種選択

就職活動

他のビジネスも知りたいと就職活動を始めたが
他社の面接を受けながらマザーハウスが大好き
であることを再認識。就活をやめる。当時のマザ
ーハウスは中途採用のみだったので、アルバイトで
生活しているか悩んだが、父の「どうしてマザー
ハウスで働かないの？」のひとことで心は決まり、
経営陣に正社員として採用してほしいと直談判。
これからやりたいことと自分ができていることを
プレゼンし、採用を勝ち取る。

なってみて今

父のひとこと思い切つて行動してよかった。今
後はマザーハウスを世界的なファッションブランド
と肩を並べるくらい会社に成長させた。

意志の芽生え

高校時代

英語教育で有名な神戸市立聾盲高校に進学。
帰国子女の英語力の高さに悔しい思いをし、留
学への欲求が高まる。一方で水泳でも国体に
出場。再び実力が伸び始めた水泳を続けるか、留
学するか迷ったが、留学手続きや金銭面で全
面的に協力してくれた両親への感謝から「コー
リアン」留学を選択。語学力はもともと、トラ
ブルに見舞われながらも自分の意見をはっきりと主
張することや自立心が鍛えられた。

親の接し方

やりかたをやりなさいといつも学校と
水泳で忙し私の朝晩の送迎など全面的にサ
ポート。私のことを信頼してくれていることが
痛いばかりだったので、頑張る原動力。

進路選択のポイント

英語の授業の教材で国際問題などが扱われる
ことが多く、クラスでもよく議論した。なかで
も世界の貧困問題については、自分ばかりの人
以上に興味をもつて取り組んでいることに気づ
いた。国際問題について学べる大学を志望。

大学時代

慶應義塾大学総合政策学部総合政策学科入
学。消費者行動学や開発経済学などを勉強。フ
ェアトレード商品を研究したときに、人はモラル
では物を買わないということを実感。ビジネスと
途上国支援を両立している会社はないかと探
す。その過程で、同じ大学を卒業した先輩が立
ち上げたマザーハウスの存在を知り、ビジネスを
研究するためにアルバイト開始。

こんな人が向いている!!

1. 自分以外の誰かのために働きたい
2. 自分の主張をはっきり言える
3. 他人の気持ちや利害を察して調整や交渉する能力に長けている
4. 熱いハートとあきらめない根性をもつ



⑥空港の経営には、他の行政
機関、自治体、民間企業などさま
ざまな人々が関与しています。新
しい空港経営のシステムを作る
ために、何度も地道に関係者の
利害を調整し、できるだけ多く
の人々が合意できる着地点を探
る作業を行っています

⑦仕事はチームで行います。大
変なことも多いだけに、戦友のよ
うな強い信頼関係で結ばれてい
ます

職種選択

就職活動

国家公務員一種試験の受験勉強と並行して官
庁主催の採用説明会へ参加。大学3年生の11月
ごろ、当時の小泉首相が観光立国によって訪日
外国人を増やすという政策を明確に打ち出した
ことで、観光政策も担当する国交省に初めて興
味をもつ。また、防災の面でもインフラや住宅、
建築行政を担当しているのだから漠然と思っ
ていた観光・防災など自分のやりたいことができ
る職場だと思い、国交省の面接を受け、入省。

なってみて今

入省1年目から耐震偽装事件対策の法改正の
立案など大きな仕事を任せられる。やる気さえあ
れば若いうちからどんどん経験を積みましてくれ
る懐の広い職場だと改めて思う。また、どんな部
署でもライフワークである観光と防災のどちら
かに関係する仕事ができる国交省を選んだのによ
かった。これからも人と人とのつながりを生かして
新しいことをどんどん生み出していきたい。

意志の芽生え

高校時代

父が大学の教師で、普段から勉強は大事だ
と言われていた。自分からも勉強を教えて
もらったり、一緒に模試結果の分析をして
もらったりしていた。通訳の資格をもつ母に
英語など語学の指導をしてもらった。大学
選びも両親とよく相談。父は将来国家公務
員を目指すなら、周りに似た目標を持った
学生が多くて切磋琢磨できる東京大学がよ
いと助言。両親とはかなり密な関係。信頼
関係があったので干渉も嫌ではなかった。受
験など重要な岐路では励みになったり
心の支えになった。ありがた存在だった。

親の接し方

海外の一般人に日本社会の現状が知られていなか
ったことに衝撃を受ける。日本のありのままの姿
を世界に伝えたい、そのためには実際に日本に來
てもらい理解してもらおうのが一番だと観光に興味
をもつ。また、神戸に住んでいた小学6年生の時
に阪神大震災が発生。子どもながらも震災の理
不尽さややり場のない怒りを感じると同時に、防
災の重要性も意識するきっかけに。両親の勧め
もあり、受験して神戸の中高一貫校、六甲学院へ
入省。mean for others という学校の理念もあり、国
家公務員のような広く誰かの役に立つ仕事で
志望。バスケ部や文化祭、体育祭の委員で活躍。

進路選択のポイント

将来日本を何かしらの形で変えていきたい、
良くしていきたいという意欲のある学生が
集まると思い、東京大学を志望。国家公務
員として仕事をするためには、法律や政治、
行政に関する素養があったほうが良いだろう
と法学部を志望。

大学時代

東京大学法学部へ入学。国際法や国際政治など
のゼミにも入り、法学・政治学を学ぶ。2年生ま
ではアルバイトと旅行に夢中。



ものづくりに携われることがとても幸せです。この会社に入ってから本格的に始めたプログラミングですが、徐々に**美しいプログラミングの書き方**などがわかって、それが**動作したとき**などはとても喜びを感じます。

06 IT技術者

デジタルアーツ株式会社 開発部第一開発課
杉山ゆかりさん (28歳)

情報漏えいを防ぐ
ソフトウェアの開発

国内シェアナンバー1の企業向けWebフィルタリングソフト「I-FILTER」の開発をしています。2011年10月に発売された最新版では、国内初の機能として出口対策・64Bitネイティブ対応・IPv4/IPv6変換機能を搭載しています。旧バージョンに比べて大きくリニューアルしたので、前のバージョンの製品から買い替えたユーザーがそのままスムーズに使えるための設定移行支援ツールの制作を任され、その設計からプログラ

ミングまでを担当しました。また、Webから製品をダウンロードできるシステムを作ったり、稼動テストや個別のお客様向けのカスタマイズなども担当しています。

こんな人が向いている!!

1. ひとつのことに集中できる
2. 柔軟性がある
3. 途中で投げ出さない粘り強さや忍耐力
4. 緻密な作業が要求されるので細かい作業が得意



④ 現在の職場の先輩は皆さん優秀でお手本になるプログラマばかり。仕事で行き詰まったときはアドバイスしてくれるし、技術を身近に見て勉強できるので助かっています

⑤ 普段はほぼ一日中デスクのパソコンでプログラムを書いています

職種発見

意志の芽生え

↓ **なってみて今**
プログラミングを専門に勉強していなかったから入社以来手探りな部分は多いが、その分新しいスキルや知識を吸収している実感がもっている。この道を選んでよかった。

↓ **就職活動**
博物館の学芸員の資格を取得し、考古学への夢が再びもくもくと頭をもたげた。博物館への就職も考えたが、プログラミングの経験を通じて、自分で何かを創り上げる仕事をやりたいという気持ちと、せっかく勉強したプログラミングを生かしたいという気持ちの両方が大きくかかっていた。それでソフトウェアの開発会社を自分の進路にすることに決めた。

↓ **大学時代**
建築そのものには興味は薄れていたが、情報系の研究室に入り、プログラミングを経験。先生のお手伝い程度だったがプログラミングにもものづくりのおもしろさを感じることができた。

↓ **大学時代**
日本大学理工学部海洋建築工学科入学。4年間勉強して、純粋に建築がやりたいわけではなく、ことが明確になり、建築業界への就職を悩む。受講中の学芸員の資格が取れる講座が大学院1年生まで続くので、資格取得後に就職を考えても遅くないと、大学院に進むことを決めた。

↓ **進路選択のポイント**
現役での受験に失敗。浪人時代はとにかく大学に受からないという気持ち。いろいろ考えた結果、現役時代よりもやりたいことが建築に絞れてきた。なかでも得意分野だった生物学系が関係する海洋建築を志望。

↓ **親からの忘れられないひとこと**
両親は、進路についての話はあまりしなかったが、一生続けられる仕事を見つけたほうがいいと言っていた。母に建築関係に進みたいと言ったときは、自分がやりたいと思うならいい、ただし、自分で決めたからには最後まで責任は取りなさいと励まされたことが印象に残っている。

↓ **高校時代**
成蹊高校へ入学。子どものころから考古学者にあこがれていたが、理系教科が得意だったため、史跡修復作業にもかかわれる建築分野、得意だった生物が生かせる獣医、生物学者に興味。その先が絞れず悩んだが、自分の好きな道に進みたいという気持ちは明確だった。

↓ **小学校〜中学校時代**
映画「インディージョーンズ」を観て考古学者にあこがれた。母に連れられて博物館や美術館によく通っていた。歴史に触れるのが好きだった。

なるまでヒストリー

08 土木施工管理

鹿島建設
東京土木支店 金町浄水場工事事務所
貞廣育子さん (27歳)

安全を確保しながら
工事を完了させる

施工管理とはいわゆる現場監督。土木、建築の工事現場において実際に作業をする職人さんを束ね、安全を確保しつつ、決められた工期通りに工事を完了させる責任者です。

現在は高度浄水施設の拡張工事の施工管理をしています。とても巨大な建造物で、たくさんのパートがあるうち、私は処理された水が流れる配管の施工管理を担当しています。具体的な業務は管の発注、使用する重機の選定、据付計画の立案、現場の見回り、工事の進捗状況の確認、職人さんたちへの指示、連絡などです。さらにお客様への報告書の作成や検査の際に必要な書類の作成など細々とした事務作業も多いです。また、コンクリート技士や一級土木施工管理者など必ず取得しなければならぬ資格も多いので、そのための勉強もしています。

最初は紙の図面の上になかった巨大な建造物が、目の前で少しずつ形を現すのが醍醐味ですね。社会のインフラを支える工事に携われるのも魅力です。



07 消防職員

東京消防庁 防災部 震災対策課 震災対策係 副主任
安藤 充子さん (30歳)

災害の最前線で消火・救助活動する消防隊員をバックアップすることは都民を守ることにつながるので、日々の業務にやりがいと誇りを感じています。

大震災に備え 用意周到整える

震災対策課で、大地震が起こったときに都民の生命や財産を守るための対策を立案し準備する仕事をしています。その業務はさまざまで、地震計ネットワークや震災消防活動支援システムなどの震災時情報管理システム作りや、震災の課題及び教訓から新たな対策を立案。また東京都の総合防災部に協力して、地域防災計画の策定に参画しています。地震が発生した場合、中心となって災害応急活動を継続するのは消防職員ですが、その



- ④ 都民の安全を守ることに繋がる絶対に欠かさない仕事なので、誇りをもって取り組んでいます。もっとも、私が準備した資機材を使う日が来ないのが一番なんですけどね(笑)。
- ⑤ 毎日パソコンに向かってることが多いです。必要な資機材を選ぶ際には限られた予算の中で、震災発生直後の厳しい環境下で職員の活動を後押しできる物をと心がけています

こんな人が向いている!!

- 1. 人が好き
- 2. 社会に役立つ仕事をしたい
- 3. 文系でも理系でもOK
- 4. 危機意識をもって仕事に取り組める

ために必要な資機材を整備するのも私の仕事です。例えば当庁の全消防職員の非常用食糧の配置計画や水のろ過器、トイレなど、活動を支えるあらゆる物を整備しています。

職種発見

意志の芽生え

なるまでヒストリー

▼ 小学校時代
看護師の祖母の影響で看護師、また先生が好きで教師にも漠然とあこがれていた。

▼ 中学時代
テニス部や生徒会で友達とわいわい。充実した中学生活。新聞記者、考古学者、教師などに興味。

高校時代

埼玉県立浦和第一女子高校に入学。中学時代が忙しかったため、高校はまったりしうと華道部に入学。

進路選択のポイント

志望学部を考えるとき、初めて真剣に自分はどうな人生を歩きたいのか考えた。70歳を超えても現役看護師として働き続けた祖母を尊敬していたので、人や社会と長くかかわれる公務員や資格系職業を考え、具体的な職業は絞れず、法学部を目指すことにした。

大学時代

明治大学法学部に入学。友達に誘われ体育会の自転車部のマネージャーに。未知の世界だったがいかなる所に遠征に行けたし、他大学の学生ともたくさん知り合え、いい経験になった。

就職活動

まだやりたい仕事が見つからず、一般企業や官公庁の説明会に手当たり次第に参加。参加しながら自分の人生にとって重要なことを考えるうちに、祖母の影響から人を助けたい、目の前の人のために働く消防の世界、特に、日本一の規模を誇る東京消防庁は、入庁してからいろいろな職種に就ける可能性があり、委託研修として大学院で学ぶことができるので採用試験を受けた。

▼ なってみて今

入庁後、大学院に入学し、政策分析や立案について学んだ。学んだことをより広域で高度な防災戦略に生かし、将来の東京消防庁を支える人材になりたい。

親からの忘れられないひとこと

悩んだ時には話を親身になうて聞いてくれるので、進学でも就職でもわりと何でも相談していた。そのときよく聞いたのは「私の経験から言えることは限られているから、自分でよく調べて考えなさい」という言葉。そのおかげで自分で考える癖がついたし、これまでの人生の岐路ではすべて自分で選択してきたという自負がある。だからつらいことがあっても頑張ろうと思えるのでありたいと思う。

こんな人が向いている!!

- 1. あまり落ち込まない。前向き
- 2. コミュニケーションが得意
- 3. 全体を見られる。視野が広い
- 4. 問題解決に意欲的
- 5. みんなをまとめて上げるのが得意



⑥ 現場にいるのはほとんどが男性。女性が少なく不安じゃないですかとよく聞かれますが、皆さん経験豊富なうえにとってもやさしくて常に私を気遣ってくれるので、逆にいいことのほうが多いんですよ(笑)

⑦ 管を設置する際、設計図通りの位置に据え付けるために管の高さなどを計測します

意志が固まる

意志の芽生え

なるまでヒストリー

▼ 高校時代
香川県立丸亀高校に通っていた。文系の科目のほうで得意だったが、理系のほうが将来の就職に有利だと思い、理系を選択。

進路選択のポイント

3年生のとき、初めて真剣に将来のことを考えた。でもなりたい職業が思い浮かばなかった。仲のいい友達が建築方面を志望していたので、建築まいいかもと思い、建築学部を受験。しかし、これも受からず浪人。

浪人時代

予備校の寮に入り懸命に勉強。建築系の学科を志望していたが、手違いで土木系の学科に願書を提出してしまっ。

大学時代

山口大学工学部社会建設工学科入学。学んでみると土木のほうがおもしろかったので建築系に転学科せずそのまま土木を勉強。

大学院時代

大学受験時から理系は大学院卒じゃないと就職が難しいと思っていたので、修士課程に進学。工学研究科環境共生系を専攻。すべての建造物は土の上に建っているという教授の言葉に感動し、地盤工学研究室に入り土質の研究を行う。1年生のときにイギリスの大学へ留学。

就職活動

就職活動のため一時帰国。土木関連の主な就職先であるゼンコン・コンサルティングファーム、地方自治体でとても悩んだ。帰省する際によく通っていた瀬戸大橋を眺めながら、人の役に立つ巨大な建造物を造ってみたいと思い、ゼンコンに決める。いろいろな現場が体験できそうなのにも惹かれた。鹿島建設は、大学で聞いた女性初の総合職社員の話がとてもパワフルで、こんな人が活躍できる会社で働きたいと思い、志望。

▼ なってみて今

鹿島建設に入社後、橋脚の工事に1年間携わる。その後、今の浄水場の現場に配属。たいへんことは多々あるが、それを上回るやりがいがあるのと、土木の道に進んでよかった。最初は建築がやりたかったはずなのに運命で変わったように思う。

親の接し方

これまで進学、就職に関してこちらからは相談しなかった。親のほうから多分はなつた。ただ自分のやりた道に行けはいいというスタンスかという決断を見放されたいというわけではなく、私を信頼し、陰ながら応援してくれているという印象。それはとても愛わらない。両親にはとても感謝している。



ハードルを一つずつクリアして開発したものが商品として完成したときが一番うれしいですね。そして自分が作った商品がお客様を幸せにしていると思えることが大きな喜びです。

09 化粧品開発者

富士フイルム株式会社 R&D統括本部 医薬品・ヘルスケア研究所
青木美菜子さん (28歳)

女性を元気に美しくする化粧品を開発

化粧品開発の主な仕事内容は、商品化に向けて、配合する成分とその処方を決めるための実験を行うことです。実験を重ね、何百もの試作品を作って検討することもあります。また、当社では開発者が商品企画会議や宣伝販促会議にも参加しています。検討段階から商品が発売されるまでの全工程に積極的にかかわることで、商品への思いも強くなりますし、やる気も出ます。さらに、当社の化粧品は写真フィルムで培った高度な技術

を応用しているため、その技術力と効果をお客さまにわかりやすく伝えられる資料作成も重要な仕事のひとつです。開発チームのメンバーで研究する機会も多いです。

こんな人が向いている!!

1. 元気で前向き
2. 壁にぶち当たってもあきらめない
3. 周りの人を巻き込んでいける
4. さまざまなことに興味を持ち、探求するのが好き



④これまで「アスタリフト」のナイトクリーム、美白クリーム、ディプロテクター、メラノレタッチコンシーラーなどの化粧品を開発してきました。ものづくりをしている実感を得られます

⑤さまざまな器具を使って日々研究しています

意志が固まる

意志の芽生え

なるまでヒストリー

▼小学校時代
幼いころに発症した小児喘息が4年生のときに悪化、喘息の特効薬を作りたいと思い、医療や健康にかかわる仕事に興味を持とうになった。

▼高校時代
お茶の水女子大学附属高校へ。中学時代に引き続きテニス部で活動。喘息はいつの間にか完治。

進路選択のポイント

周りの同級生が医学部志望だったこともあり、医療方面に進みたい気持ちが高まりました。医学部を目指し、猛勉強するも不合格。医師への夢をあきらめきれず、浪人。

▼浪人時代

引き続き医学部志望だったが、母に「小さいころから病院が大嫌いだったのに本当に医者になりたいの？」と問われる。本当にやりたいことは何か、自問自答を重ねた。そして、開発者として人の健康をサポートする商品を出すことで、より多くの人の健康にかかわりたいと思いが至り、幅広い研究ができる理工学部方向転換。

▼大学時代

慶應義塾大学理工学部入学。3年の終わりから神経伝達や遺伝子の研究を行う生物物理神経情報学研究室で、ホヤの未知の遺伝子を研究。

▼就職活動

修士課程受験と就職活動を並行して行う。ヘルスケア分野に力を入れていた富士フイルムに内定をもらったが、修士課程の試験にも合格。最後まで就職が進学で悩んだが、母の「あなたは外向きな性格だから社会に出るほうが向いている」というアドバイスにも押され、社会に出て自分の力を生かしてみたいと思い、就職を選択。

▼なってみて今

当初は医療機器の開発などに興味があった。しかし会社として事業参入したばかりの化粧品開発を一から学び、女性としての視点も生かしたいと考え化粧品開発部門を志望。やりたかったことと思う存分できるこの道に進んで本当によかったと思う。

親の接し方

進学や就職も人生の重要な岐路では母親の対応がとてもありがたかった。自分で決め心不乱に突き進んでいるときは母は見守るだけ。何も言わなかった。しかし私の中で迷いが生じたとき、絶妙なタイミングで声をかけ、親身になって話を聞き、的確なアドバイスをくれた。今の私があるのは母のおかげだと思う。感謝の気持ちでいっぱい。

11 小学校教諭

杉並区立三谷小学校 4年1組担任
藤田英里さん (26歳)

授業、イベント、事務作業子どもに寄り添い指導

公立小学校で教師をしています。例えば1年生と4年生では考え方や行動が全然違うので、その学年に合わせた接し方、教え方が求められます。授業をする際は学習目標を

設定して、いかに全員が達成できるかが重要。そのためには教科書通りに教えるだけではだめで、子どもたちの性格や習熟度など、受け持つクラスの実態に合わせた教え方を心がけています。教科の中でも教師によって専門的に教え方を研究している科目があり、私は国語を研究しています。選んだ理由はどの学年でも一番授業数が多く、教える際にもこまめな反響が返ってくるからです。他に、その学年全体の業務もあり、例えば4年生の教員が集まって、次週の授業の進め方や行事の進捗を話し合うなど、チームワークで進める面も多いです。



この仕事の最大の魅力は、いつも一生懸命で純粋な子どもたちと一緒にいられること。また、小学生の子どもは成長が早いので、その成長の瞬間に立ち会えることも醍醐味です。



この仕事の醍醐味は**代理店のアフリカ人社長と外国語で直接やりとりできること**。また、建機が稼働しているような、**普通の観光ではなかなか行けない場所に行けること**もこの仕事ならではの大きな魅力ですね。

10 海外営業

コマツ 建機マーケティング本部 海外営業本部 アフリカグループ
大塚俊裕さん (29歳)

海外での建設機械の売り上げを伸ばす

海外の子会社や現地拠点で当社製品の営業活動を行う駐在員を日本からバックアップしつつ、彼らの担当していない地域の販売代理店に対して、直接営業活動を行うのが私の仕事です。担当している国は南アフリカ、ガボン、ザンビア、ボツワナなど。現地での当社製品の売り上げを伸ばすために、各地の代理店の見積もり作成や在庫管理をサポートするほか、技術的な問題や価格の問い合わせにも応じています。現地代理店が受注する



④業務改善の提案や仕事への挑戦意欲を買ってくれる会社なので、やりたいことを積極的にアピールしています。昨年はガボンに行ったのですが、それも自分で手を挙げたんです

⑤現地代理店の人とのやりとりでは、メールでフランス語を使うことも。アフリカは日本と文化も風習も全然違うのでその辺を考慮しながら交渉しています

こんな人が向いている!!

1. 粘り強い。あきらめない
2. 異文化を受け入れられる柔軟性
3. 自分の意見を根拠とともにはっきり伝えられる
4. 素早い実行力、行動力がある

と、日本国内の生産工場と調整しながら納期通りに製品を届け、代金を回収して初めて仕事が完結します。これらの業務を電話やメールで主に英語を使って行なっています。

なるまでヒストリー

Ⅴ小・中学時代

父の仕事の関係で小6から中2までアメリカで過ごす。さまざまな人種が混在する教室など日本とは何もかも違う新しい環境に衝撃を受け、世界への興味が広がった。中3の春に帰国。

親からの忘れられないひとこと

英語がわからなくて友達をつくるのに苦労していた小6の頃、母から「お父さんは職場で外国人の社員の前で英語でスピーチしたのよと聞いた。自分が馴染めなくて苦労しているときに、父はすごいなと思ったことを覚えていて、これが父と同じように海外でバリバリ働ける人になりたいと思った最初のきっかけがもしもね。

Ⅴ高校時代

数学が得意だった。帰国してみると英語の方が強みになると思い、英語を伸ばせる愛知県立千種高校国際教養科に入学。ラグビー部に入部。花園出場まであと一歩のところまで進んだため浪人を覚悟の上、3年生の12月まで活動。

進路選択のポイント

いつか海外で働きたいなとはずっと思っていたが将来の夢は確定していなかった。アメリカではスペイン語圏のメキシコに近いサンティエゴに暮らしていたので、興味を抱き、スペイン語を学べる大学を志望。

Ⅴ浪人時代

大阪外国語大学、神戸市外国語大学のスペイン語学科を受けたが不合格。浪人。図書館で読んだ「国際公務員になるには」という本で英語とフランス語が必要だと知り、フランス語学科に進路変更。

Ⅴ大学時代

東京外国語大学外国語学部フランス語学科に入学。ひたすらアルバイトと海外旅行に明け暮れる日々。アジア、アメリカ、ヨーロッパを巡る。この間、海外で働きたいという意志が固まる。

Ⅴ就職活動

メーカーの海外営業職を志望。さまざまな会社の面接を受ける中で、先輩社員や人事の言葉から飾らない社風に魅力を感じてコマツに入社。

親からの忘れられないひとこと

父親に「仕事のやりがいは何?」と聞いた時「自分は今まで社会の中で生かされてきた。これからは仕事で社会に恩返しをしたい。それがやりがいか」と答えた。そのとき自分も将来父親のようになりたいと思った。

Ⅴなつてみて今

子どもの頃からあこがれを抱いていた海外との関わりをもてる仕事に就けてよかった。目標は海外駐在員。そのために今の仕事で会社で認められるよう頑張っている。

こんな人が向いている!!

1. 子どもが好き
2. 人の意見をよく聞ける
3. 謙虚、礼儀正しい
4. 前向き
5. 気配りができる



⑥教師1年目から1年生、2年生、現在は4年生を受け持っています。子どもたちにはいろいろな観点で物事が見られ、多様な価値観を受け入れられる人間になってほしいと願いながら日々教育しています

⑦授業ではいかに注意しないで子どもを授業に集中させるかがポイント。そのため毎回興味を引くものを仕込んだり、ゲームの要素を取り入れたり工夫しています

なるまでヒストリー

Ⅴ中学時代

勉強、特に数学が最大の苦手。このままでは大変なことになるこの危機感から塾へ。塾の先生の教え方がとても上手で、勉強していくうちに徐々に成績がアップ。やればできるという自信が、その後勉強を頑張るようになった。母が保育士だったこと、幼い子どもの面倒を見るのが好きだったことで、保育士になったかった。

Ⅴ高校時代

中高貫の私立の女子校へ高校から入学。ほとんどが中等部からそのまま進学してきた生徒で、入学当初はまったく反りが合わなかった。最大の理由はその生徒たちは同じ環境で長く育ってきたことで、一つの観点でしか物事を見られなくなっているのではないかと気づく。それにより小さいころから視野の広い子どもを育てたいと思い、小学校教師を目指す。

進路選択のポイント

カリキュラムや校風などを調べたところ、小学校教師になるには玉川大学がよいと思い、志望。落ちたら人生終わると思い、猛勉強。

親の接し方

進路に関して両親から干渉されることはまったくなかった。私も相談せず、ほぼ自分で決めた。もっと私心をもつてほしいと思ったこともあったが、部活や勉強で忙しいとき世話をやいてくれたり、口には出さないが行動で気にかけて支えてくれたりするのがわかっていった。

Ⅴ大学時代

玉川大学教育学部教育学科に推薦で入学。充実した大学生活だったが、年次が上がるに従って少しくだしくよく悩むようになった自分が本当に小学校教師になれるのかと不安を抱き、自信をなくす。勉強する意欲がわかず、教員採用試験にも不合格。しかし教育実習で授業をやるたびにうまくいくことを実感。子どもと接する喜びも感じたのであきらめなければ何とかなるかなと少し前向きに。

Ⅴ教師養成塾・杉並師範館(当時)時代

杉並区立の教員を育成する杉並師範館(2011年度に閉塾)に入塾。講義の中に社会で活躍する人の話を聞く時間があった。ある会社経営者が語った「正しい答えなんてすぐには出ない。何年かかってもいいから自分で答えを見つけていこう」という言葉に感銘を受け、今の私ではない、これから努力すればいいんだと覚悟が決まる。卒業後、杉並区に採用され現在の小学校に赴任。

Ⅴなつてみて今

高校からの夢だった教師になったときは、やっとここまで辿りつけたかと感無量だった。何度も挫折しかつたがあきらめなくてよかったと思う。どの学年を受けもつても自信をもつて指導できる教師になることを目標に頑張っている。